

が、やはり「図る」を「ズる」と読んだ。

「図は、訓読みでは・か・るって小学校で教えてもらったろ？」教室を見渡して言うと、何人もの生徒が首をひねった。漢字を書かせるのはもったきびしい。「石狩平野」は「いしかりへいや」でも正解にする。

数学もだ。小6で学ぶはずの「 $1/2+1/3$ 」は、多くが「 $1/5$ 」と答える。短針と長針がわからず、教室の時計さえ読めない生徒さえいた。・・・(略)・・・

小学校低学年の内容でつまずき、授業が進まない。特別なケースではない。学校5日制や総合学習の導入で教科の時間は大幅に減り、小中とも、一度教わった内容を身につけるまで反復する「本当のゆとり」がなくなったのが原因とみられる。・・・(以下略)・・・ 【 1月3日 読売新聞「学力考」より 】

遠い別世界の話と笑うことはできません。また、学力低下の問題となると、すぐに学校が問われますが、果たしてそうでしょうか。

「ゆとり教育」の推進により、授業時間数と学習内容が減少したのは事実ですが、「ゆとり」＝「勉強しなくてもいい」ではありません。「暗記中心の受身の学習ではなく、主体的に思考する学習」を目指したのが「ゆとり教育」であり、思考の土台となる知識は確実に身に付けさせる必要があります。

教科で学んだ知識を活かして自ら思考・判断する「総合的な学習の時間」を設けたことで、教科の授業時間が少なくなることはわかっていました。であれば、授業で学んだことを定着させるために、学習内容を復習させる時間を授業時間以外に設ける必要があるわけです。それこそが、「家庭学習」の役割です。

「ゆとり教育」に転換し、「家庭学習」の役割がこれまで以上に重要になったにもかかわらず、今まで通りの意識でいた。また、「ゆとり」の意味を履き違えて、「テレビやゲームの時間」ばかりが増加してしまった・・・のではないのでしょうか。

だから今、学校（まなびフェスト）でも教育振興運動（全県共通課題）でも、「家庭学習の充実」を提唱しています。今こそ、「家庭学習」の意義とその重要性を、学校・家庭・地域・子ども自身・行政がともに考え、「家庭学習」の取り組み方を工夫する時です。

「〇〇が悪い」とか「だから、ダメなんだ」と、不平不満を言っても何も解決しません。子どもたちの教育課題に取り組む私たちは、評論家ではなく、実践者です。目の前にいる子どもたちのために、現状を踏まえた上で何をすべきか、どうしたらいいのかを一緒になって考えていこうではありませんか。

さあ 2010年！教振の原点に戻り、全県の運動として盛り上げていきましょう！

3【読書推進】 得々！ブックトーク（第3回）

「ブックトーク」は、図書館司書や読書ボランティアといった大人が、子どもたちに本を紹介する・・・という形が基本です。

しかし、中学生が小学生や未就学児に、また小学生が未就学児に読み聞かせる、子どもたちが高齢者に読み聞かせる・・・など、子ども自身が他の人に対して読み聞かせることで、絵本への関心を強めるように、「ブックトーク」も子ども自身が主体的に本の紹介をすることで読書への意欲づけを行うことができます。

(1) ペアトーキング

《用意するもの》

紹介したい本、短冊数枚（2cm幅程度）、シート（紹介メモ、感想記入用）

- ① アイスブレイクにより、相互に交流する雰囲気をつくる。
- ② 【活動の説明】自分が紹介したい本を持って歩き、他の人にその魅力を紹介する。紹介したい本を1冊決めさせ、3枚の短冊に書名と自分の名前を書く。
- ③ 【準備】紹介したい内容（登場人物、内容、感動したところ等）を考える。
- ④ 【活動】本と短冊を持ってたち歩き、お互いにその本の「おもしろさ」を紹介し合い、紹介が終わったら短冊を渡す。
- ⑤ 3人に本の紹介をし終わったら、着席する。
- ⑥ 【振り返り】他の人に紹介された本の短冊3枚をシートに貼り、自分が紹介した感想と他の人から紹介してもらった感想を書く。
- ⑦ 【分かち合い】上手に紹介した人や読みたいと思った本の発表をする。

(2) ブックバイキング

《用意するもの》 ペアトーキングと同様

- ① アイスブレイクにより、相互に交流する雰囲気をつくる。
- ② 【活動の説明】「バイキング料理」の料理の代わりに紹介したい本が並んでいて、自分の好きなどころに行って本の紹介を受けることができる。紹介したい本を1冊決めて、短冊（紹介相手に配る枚数）に書名と自分の名前を書く。
- ③ 【準備①】紹介したい内容（登場人物、内容、感動したところ等）を考える。
- ④ 【準備②】集団を、前半・後半に分ける。
- ⑤ 【準備③】机をコの字に並べ、紹介する側は外側に立ち、内側に紹介したい本を向けて並べる。
- ⑥ 【活動】前半；興味を持った本の所に行き、紹介を受けたら短冊をもらう。1人3冊紹介してもらったら着席をして、前半を終了。後半と交代して、同様の活動をおこなう。

（注意①）好きなどころに聞きに行くことができることから、誰も聞きに来ない人がいることがある。誰か一人には、紹介できるよ

うに配慮する。

(注意②) 仲良しから紹介してもらいたがるが、本の表紙を見て、本で紹介者を選ぶことを事前指導する。

- ⑦ 【振り返り】他の人に紹介された本の短冊3枚をシートに貼り、自分が紹介した感想と他の人から紹介してもらった感想を書く。
- ⑧ 【分かち合い】上手に紹介した人や読みたいと思った本の発表をする。

各実践区や公民館での活動、図書館での企画や学級での読書推進の取組として、是非やってみてください。これで、「ブックトーク」を終了します。

次回は、「国民読書年とESD円卓会議」についてです。

4 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

(振ちゃん) ねえねえ、知ってる？すごいんだよ！

(教ちゃん) な～に？どうしたの？

(振ちゃん) 今度、ぼくたちのことがテレビで放映されるんだ。

(教ちゃん) えっ？ホント？ついに、わたしも芸能界にデビューってことね。
いつかは、スカウトされると思っていたわ。

(振ちゃん) ……。

(教ちゃん) で、どんな役なの？相手は、拓哉？それとも、雅治？

(振ちゃん) もしもし？あの～、話を続けていいかなあ？

(教ちゃん) ええ、はやく教えて！ワクワク、ワクワク……。

(振ちゃん) 『いわて希望大作戦』っていう県の施策を紹介する番組が、「めんこいテレビ」や「テレビ岩手」で放送されているんだけど、教育振興運動の全県共通課題の特集を組んでくれることになったんだ。いわてが誇る教育振興運動が、今、何を目指しているのかを全県のみなさんに知ってもらえるんだよ。

(教ちゃん) わかったわ。わたしのライバルは、ふじぼんっていうことね。

(振ちゃん) 放送日は、2月3日(水)・5日(金)が「めんこいテレビ」、7日(日)、8日(月)が「テレビ岩手」で、そのほかに県内の10ケーブルテレビでも放送されることになっているんだ。

(教ちゃん) ねえねえ、わたしの衣装は、どんなのがいいかしら……？

5 【みんなの声】ぺっこ言い隊

(1) 教振メルマガも、気が付けば10号が発行され、だいぶ県内の教育関係の方々にも、浸透したのではないのでしょうか？やはり、「継続は力なり」ですよね。

何かを始めるにも、勇気がいりますし、それを続けるということは、さらに、パワーが必要となります。私自身、とても励まされました。ありがとうございました。これからも、楽しみにしています！(S町Yさん)

(2) いつも楽しく拝見しています。休みの日は子どもたちと昼食の用意をすることが多いので、その様子を一言。

先日、うどんを鍋で煮ようとした時ですが、タレを3倍に薄めるのを娘に頼んだら、「この前習った“比”の問題と同じだね・・・」とのこと。

切ったネギの断面図を見れば、別の子どもが「教科書で何かの植物の似たような絵を見た」だの、モチは県南地方に「餅つき隊」がいるだの、次々に話題提供してくれました。

学校で習ったことを日常生活で実感する、とても大切なんだなあと思った次第です。(H町 Cさん)

メルマガの感想や日頃思っていることをどんどんお寄せください。

⇒ 21kyoushin@gmail.com

6 【編集後記】あつしのひとりごと

明けまして、おめでとうございます。(すでに、1月中旬ですが・・・)
本年も、「教振メルマガ」をどうぞよろしく願いいたします。

さて、冬休みも終わりに近づき、宿題に頭を悩ませているご家庭も多いことと思います。こんな時、「子どもたちが集まっての学習会が、あったらな・・・」と思ったりしませんか？

また、冬休みの宿題の定番といえば「書初め」。これも、「親子書初め大会」があって、その作品を学校に提出できれば、一石二鳥だな・・・なんて思いませんか？親子でのミズキ団子づくりや昔遊びは、よくありますけどね。

学校の「宿題」と連携した取組を、教振や地域の事業としておこなうと、学校や家庭が助かることが多いのではないのでしょうか。「こんな宿題を出します」という情報を学校は家庭だけではなく、地域にも提供するといいですね。

「アツたらいいな」、「目のつけどころが、シャープです」・・・コマーシャルの決め台詞を、日常生活の中で今年もどんどん具体化していきたいですね。

⇒ 第13号は、1月26日(火)配信です。

★**教育振興運動の資料・「教振メルマガ」のバックナンバー**は、こちらまで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index.html>

★このメールへの感想、ご意見・ご要望は、こちらまで。

⇒ 21kyoushin@gmail.com

★生涯学習の役立ち情報なら何でも「まなびネットいわて」まで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/>

★子育てに迷ったら、ひとりで悩まず「子育ていわてケータイサイト」に。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kt-shien/>

～～～配信元～～～

* 岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

* 発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気をあなたから作りだしてください。

⇒ 学校新聞の裏面に掲載しての各家庭への配布、回覧板を使っての自治会・子ども会への回覧も大歓迎です！

～～～